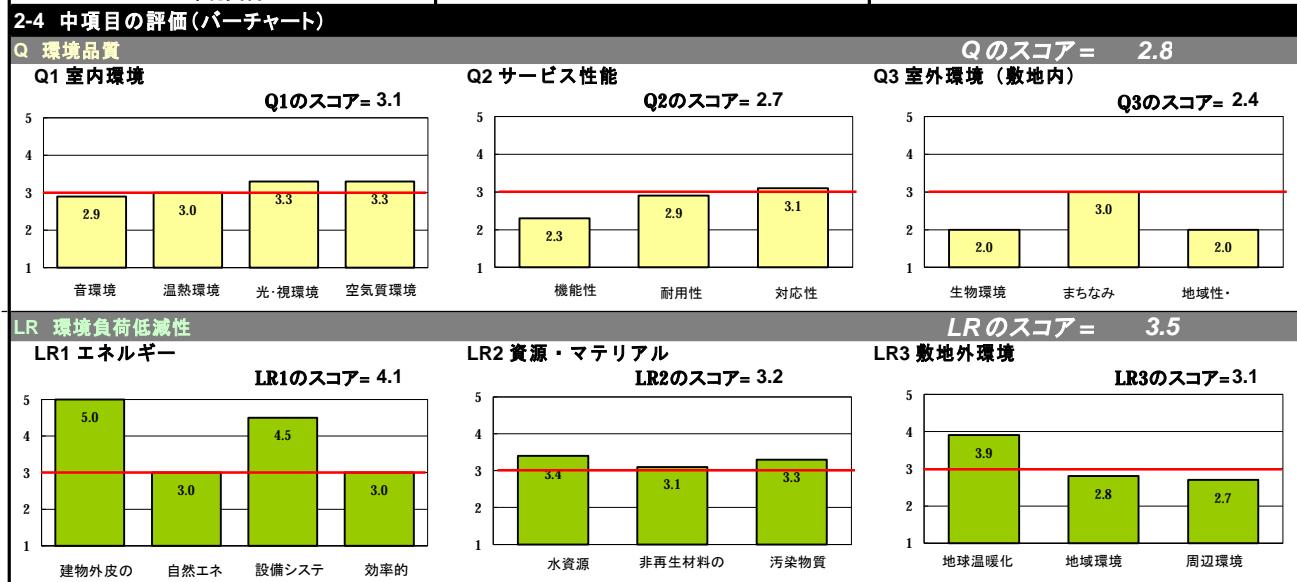
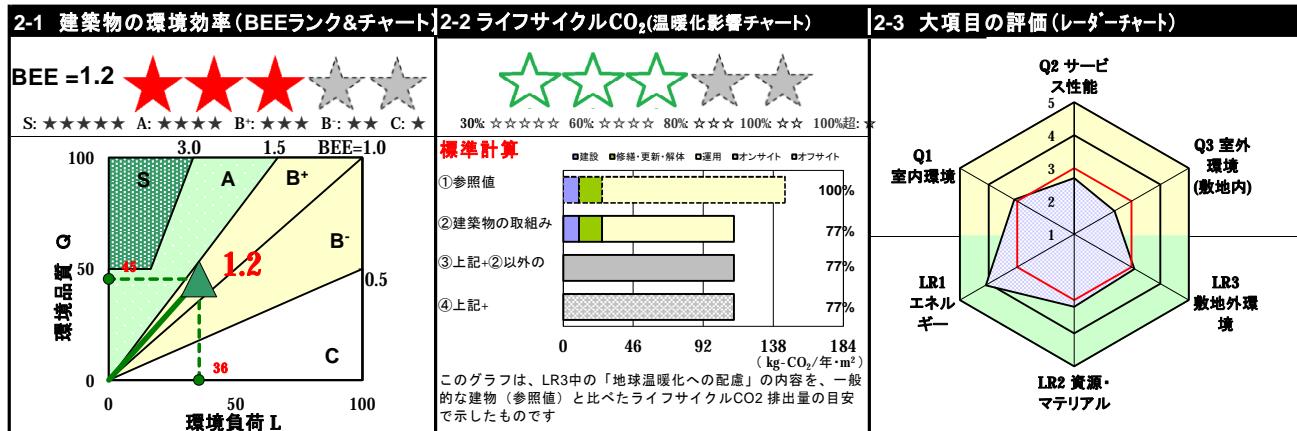


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)河内長野計画新築工事	階数	地上7F
建設地	大阪府河内長野市木戸	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、防火場	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年11月22日
敷地面積	6,566 m <sup>2</sup>	作成者	中野泰輔
建築面積	2,424 m <sup>2</sup>	確認日	2025年12月2日
延床面積	9,549 m <sup>2</sup>	確認者	岡田宗修



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		その他
ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b>		<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
2.5% ≤ [星光率]。 そして、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 また、ビル全体の禁煙が確認されている。		特になし。
<b>LR1 エネルギー</b>		<b>LR3 敷地外環境</b>
BPIm=0.71。 そして、BEIm=0.72。		ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率77%。
<b>Q2 サービス性能</b>		
①非常用発電設備を備えている。 そして、0.1≤[壁長さ比率]<0.3。 また、配線は空配管内に設置されます。ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		
節水器などに加えて、節水型便器も採用している。 そして、LGS使用している。 また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフケーブルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフケーブルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)河内長野計画新築工事				
建設地		大阪府河内長野市木戸				
用途／区分		病院 学校(大学等)				
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+		
①	CO2削減			4		
②	みどり・ヒート アイランド対策			2		
③	断熱性能			5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能			5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】						
項目	評価内容				スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮				3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策						
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				4.5	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない
その他						
先進的技術の導入			技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項		ライフサイクルCO2排出率77%。 BPIm=0.71、BEIm=0.72。				